

提出日： 2025 年 7 月 1 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
総合政策学部	教授	李 里花

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2024年4月 1日 ～ 2025年3月31日	1
	2. 2024年9月 1日 ～ 2025年8月31日	
	3. 2024年4月 1日 ～ 2024年9月20日	
	4. 2024年9月21日 ～ 2025年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	次の研究活動を実施した。 1. 資料収集、研究動向の調査(日本国内および米国 APA 参加) 2. 現地調査(日本国内およびフランスにて) 3. 研究報告(国際学会2件、国際ワークショップ 2 件、国内学会 2 件、国内研究会 3 件、その他講演等複数回実施) 4. 論文執筆(フランスの学術誌)・編者としての本の出版(2024 年度 1 冊・25 年度 1 冊)	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	上記の研究活動を通して、研究成果を下記の通り得ることができた。 1. 日本国内の移民を対象とした心理ケアをめぐる研究動向と実態(とりわけ移民女性に対する心理ケアの欠如) 2. アメリカにおけるマイノリティを対象とした心理ケアの動向 3. フランスにおける移民難民を対象とした心理ケアの動向 4. 国際学会・国内学会での研究報告による研究交流とネットワーク構築 5. 海外における「多文化・社会的正義のカウンセリング」の理論的・歴史的枠組みについての知見	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	上記の成果をもとに、今後は研究をさらに発展させるために、次のことを実施したい。 1. 日本における移民女性のトラウマの類型化 2. 日本における移民女性を対象とした心理ケアの構築 3. 海外におけるマイノリティ(とりわけ移民女性やマイノリティ女性)を対象とした心理ケアの現地調査 4. 海外における「多文化・社会的正義のカウンセリング」を日本に応用するための課題を特定し、日本型「多文化・社会的正義のカウンセリング」の理論的枠組みの構築	

